

須賀川市立義務教育学校「稲田学園」学園だより

とう oun
稲雲

令和6年度 第14号

令和6年11月15日発行

発行者：校長 田中 朗裕



○「松明あかし」見事に完全燃焼しました!!

11月8日（金）に出発式を行い、11月9日（土）五老山山頂での「松明あかし」で、地域や保護者の皆様、企業の皆様のご協力とご指導のもと制作した本校の松明が見事に「完全燃焼」しました。そして、本校の生徒も、伝統行事の後継者としての「第一歩」をしっかりと踏み出すことができました。応援合戦も盛り上がり、互いにエールを送り合う姿が見られました。また、生徒たちから、お世話になった皆様一人一人に感謝のエールも送られました。会場に響き渡る生徒たちの声と夜空を染める真っ赤な炎は、荘厳で本当に感動しました。そして、この「松明あかし」を地域の皆様が守り、受け継いできた意味を感じることもできました。本日までお世話になった皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



○6年生の見学学習～日光方面～ 大成功!

11月1日（金）に、6年生が日光方面に見学学習に行ってきました。日光江戸村では、見学と昼食を済ませました。全員が笑顔で、仲良く活動する姿が見られました。その後は、世界遺産でもある日光東照宮に行きました。先生から出されるクイズに答えながら東照宮を見学し、たくさんのパワースポットも巡ってパワーをもらってきた様子でした。学校に戻ってきた姿からは、旅行が楽しく、大成功だったことが伝わってきました。一緒に旅行に行った副校長先生も、6年生の成長を感じて嬉しそうでした。



○ドライトマトプロジェクト進行中です！

ドライトマトプロジェクトがはじまったのは6月6日（木）のことでした。アフガニスタンにランドセルを送る費用を捻出するために、地域のJ-RAPさんの力をお借りして、トマトの苗植えをし、そこから大切に育て始めました。実ったトマトは、毎日収穫し、J-RAPさんに預けてドライトマトにいただきました。



10月17日（木）、6年生と5年生と一緒に大切に育ててきたトマトがドライトマトとして完成しました。J-RAPさんの協力を得て、「袋詰め作業」を行いました。商品として売るために、手作りのシールを袋に貼り、中に入れるドライトマトの量を正確に量りました。シールが少しでも曲がってしまうと賞品にすることができず、商品にする厳しさを味わいました。



11月10日（日）に、須賀川市の「Rojima（ロジマ）」にて、本校6年生がドライトマトを販売しました。大盛況の中、6年生たちは自分たちが心を込めて作ったドライトマトをお客さんに手渡しました。ドライトマトを使ったおいしい料理のレシピもプレゼントしました。こうして、商品として売れるまでに、たくさんの方のお力をお借りできたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。最後は、いよいよアフガニスタンに6年生が6年間使ったランドセルを送ります。



○ソロ&アンサンブルコンテスト全国大会で優秀賞！

千葉市の「青葉の森公園芸術文化ホール」で開催された全国大会に本校の音楽部が出場しました。管打三重奏では「レムリアへの哀歌」、管打アンサンブルでは「あかつきの舞」を演奏しました。どちらも生徒たちの思いが詰まった素晴らしい演奏でした。特に9年生にとっては、今のメンバーで演奏する最後のステージということもあって、演奏終了後に感極まる様子も見られました。結果は、どちらも「優秀賞」でした。音楽部のみなさんおめでとうございました。また、たくさんの保護者の皆様にも千葉まで応援に駆けつけていただき、ありがとうございました。

